



デジタルワークフローにおける誤差と要因

近年デジタルツールの進化が急激に進み、歯科技工士の日常臨床が大きく変化している。その中で様々な情報が飛び交い各クリニック、各技工所においてどのような設備を導入しどのように活用すべきかが明確になっていないと感じる。デジタルはツールとして正しく扱えば技工作業が劇的に変わり、技工士が本来時間をかけて作業すべき工程に時間をかけられるという最高の利点がある。従来 of 技工作業でも精度を追求するため、各工程において注意点やコツを掴む事で様々な問題を解決してきたと思うが、デジタルでも全く同じである。

デジタル機器は全てにおいて万能ではなく、正しく使用し各機器のポテンシャルを最大限に引き出す必要があり、各機器においての知識をつけないと最大限に発揮することは難しいと考えている。

そこで、実際の技工作業におけるデジタルワークフローをベースとして、デジタル技工の本質について解説したい。

講師

藤松 剛 先生 株式会社 S.T.F 代表取締役

略歴

1998年 新大阪歯科技工士専門学校 専攻科 卒業
 2003年 STF Dental Service 開業
 2012年 株式会社 S.T.F Kyoto 設立
 2020年 株式会社 S.T.F Tokyo 設立
 2022年 株式会社 S.T.F Digital Transformation Center 設立

straumann 社 CARES Instructor
 CM 社 Pekkton Instructor
 3shape 社 LAB Ambassador
 3shape 社 Global KOL
 RAY Global Digital Dentistry Adviser
 Imago Works Adviser & KOL
 新大阪歯科技工士専門学校専攻科 非常勤



2023

12.2 Saturday

14:00 ▶ 15:30

会場

南東北総合卸センター 2F 会議室

〒963-8681 福島県郡山市喜久田町卸 1-1-1

主催

株式会社 協立医療

協催

株式会社 松風 仙台営業所

定員

40名

対象

歯科医師・歯科技工士

お申し込み書 FAX または弊社営業担当へお渡し下さい。

FAX.024-963-0382

受講者名

ご勤務先

 歯科医師 歯科技工士 その他 ()

(協立医療 担当セールス:)

住所 〒

TEL. () -

FAX. () -